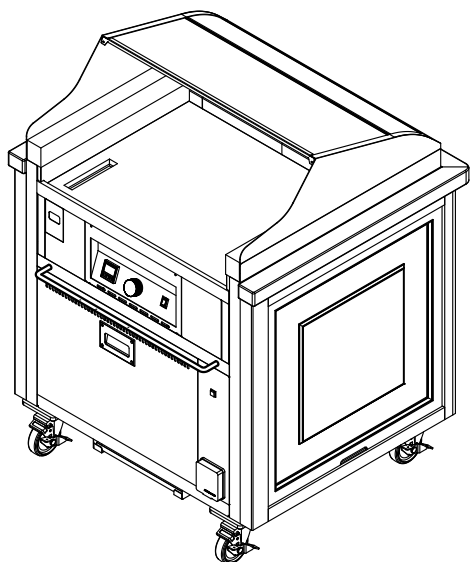


取扱説明書 脱臭機能付無煙調理ワゴン **SILK ROOM**
Wagon de Cook
【電気鉄板焼タイプ】

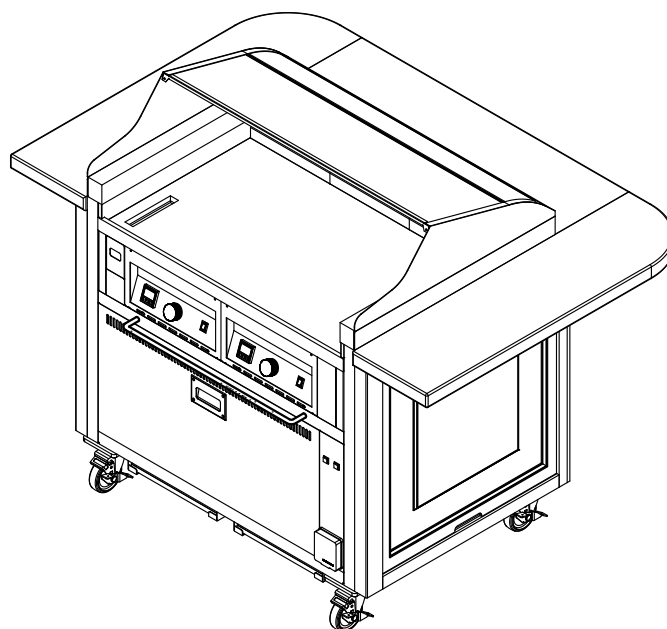
ステーキワゴン

CWG-GDLH719-KG ・ CWG-GDLH719-TB
CWG-GDLH919-KG ・ CWG-GDLH919-TB

このたびは、ステーキワゴンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、
いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。



CWG-GDLH719-KG



CWG-GDLH919-TB




本機器は屋外で使用することはできません。
屋内専用機器のため必ず屋内でご使用ください。
本機器は国内専用です。海外では使用できません。

目次




- | | |
|--------------------------|--|
| ●特に注意していただきたいこと・・・1～3 | ●定期的なお手入れ・・・・・・・・・・18 |
| ●各部の名称と仕様・・・・・・・・・・4～7 | ●リセットスイッチ・異常ランプ
インターロックスイッチ・・・・・・・・19 |
| ●電気工事・・・・・・・・・・・・・・8 | ●電源ボックス（基板）の背面スイッチ・19 |
| ●設置について・・・・・・・・・・・・9 | ●故障・異常の見分け方と処置方法・・・20 |
| ●ご使用方法・・・・・・・・・・・・10～12 | ●長期間使用しない場合・・・・・・・・21 |
| ●試運転（鉄板の慣らし焼き）・・・・13 | ●アフターサービスについて・・・・21 |
| ●日常の点検・お手入れ・・・・・・・・14～17 | ●保証書・・・・・・・・・・・・・・22 |

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守り頂く内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下図は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は警告・注意を促す内容であることを示します。 具体的な内容は△の中（左図の場合は【高温注意】の絵表示です）や近くに文章や絵で示します。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。 具体的な禁止内容は、○の中（左図の場合は【触手禁止】の絵表示です）や近くに文章や絵で示します。
	このような絵表示は、必ず実行して頂く「強制」内容を示しています。 具体的な強制内容は、●の中（左図の場合は【一般的な強制】の絵表示です）や近くに文章や絵で示します。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

⚠ 危険



分解禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、感電・異常動作してけがの原因になります。
故障と思われたときは、お買い求め先にご連絡ください。

⚠ 警告



水場使用禁止

- 本体に直接水をかけない。

感電・火災の原因となります。



禁止

- 吸排気口やすき間にピンや針金などの金属物、異物などを入れない

感電・火災・けがの原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください。)

⚠ 警告



【CWG-GDLH719-KG・TB】

- 定格20Aの接地2P引掛型コンセントを単独で使用する。

コンセント部が異常発熱し発火することがあります。



【CWG-GDLH919-KG・TB】

- 定格30Aの接地2P引掛型コンセントを単独で使用する。

コンセント部が異常発熱し発火することがあります。



接地する

- 電気工事業者による第3種接地工事を実施する。

アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



- 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

電源回路の容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。



- 延長コードは、一芯の断面積が 3.5mm^2 以上のコードを使用する。

細いコードを使用するとコードが異常発熱し発火することがあります。



- 電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてから使う。

火災の原因になります。

⚠ 注意



- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電やショートして、発火することがあります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。

感電やショートして、発火することがあります。



- 単相交流200V以外で使わない。

感電・火災の原因となります。



- 本体の移動時は電源プラグをコンセントから抜く。

電源プラグ・コードに張力が加わり、ショート・発火の原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意



■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして、発火することがあります。



■使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による、感電・火災の原因となります。



触手禁止

■使用中および使用後しばらくは、プレートやその周辺部品に触れない。

余熱によりやけどすることがあります。



■通電中・調理中は機器のそばを離れない。

調理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。



■換気の良い部屋で使用する。

煙と臭気は浄化しますが、完全に浄化はできません。また、熱を発生しています。



火災注意

■調理専用機器ですので調理以外の用途には使用しない。

過熱による焼損や火災などの原因となります。



■使用中は絶対に、機器内部の部品および集塵機などに手を入れない。

感電するおそれがあります。



■移動式の器具です。全てのメンテナンスは4方が開放している事を想定し、設計しておりますので、移動の出来ない設置は出来ません。

修理作業が出来ない場合があります。



■機器は重い鉄板を四つの車輪で支えており、小さな段差でも大きな荷重がかかる事になります。機器移動範囲の段差にはスロープを設けてください。

キャスターやキャスター付近が故障する恐れがあります。



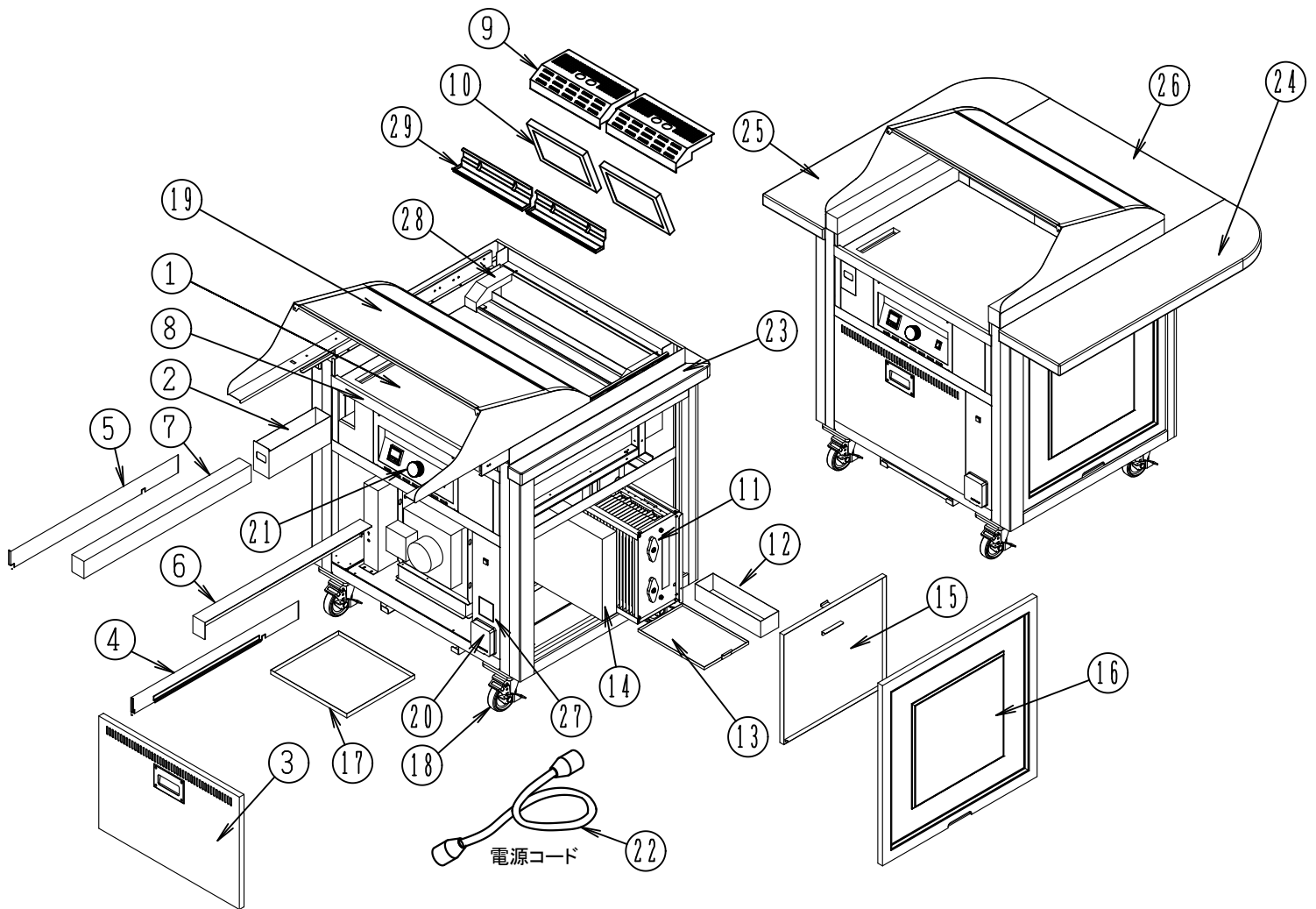
■使用中に機器が異常に高温になったり、異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずに漏電ブレーカーを切り電源プラグをコンセントから抜き使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（20ページ）に従ってください。

各部の名称

【CWG-GDLH719-KG】

【CWG-GDLH719-TB】

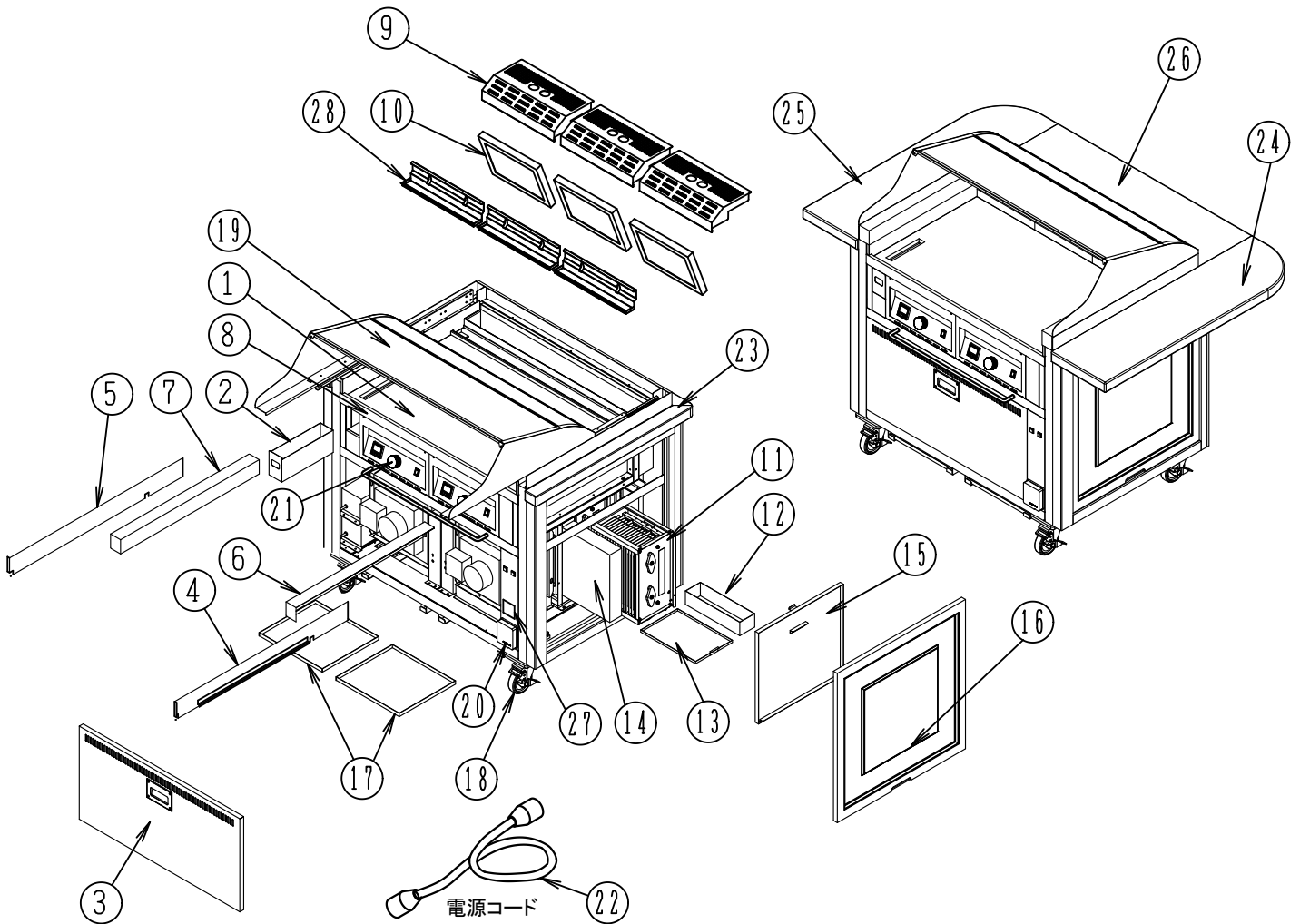


番号	名 称	数	番号	名 称	数
①	プレート (鉄板)	1	⑬	側板 (右)	1
②	カス受け	1	⑭	ドレンパン	1
③	前フタ	1	⑮	キャスター (ブレーキ付き)	4
④	鉄板カバー下 (右)	1	⑯	ガラスフード	1
⑤	鉄板カバー下 (左)	1	⑰	器具側コンセント	1
⑥	スライドフードカバー (右)	1	⑱	電気ヒーターユニット	1
⑦	スライドフードカバー (左)	1	⑲	電源コード3m	1
⑧	W700 鉄板カバー前	1	⑳	笠木 (右・左・後)	1
⑨	吸気筒カバー	2	㉑	折りたたみ天板 (右)	1
⑩	グリスフィルター	2	㉒	折りたたみ天板 (左)	1
⑪	集塵部 (集塵セル)	1	㉓	折りたたみ天板 (後)	1
⑫	チャンバードレンパン	1	㉔	形式銘板	1
⑬	セルドレンパン	1	㉕	吸気筒サイドカバー	2
⑭	脱臭フィルター	1	㉖	(CWG-756専用の部品です)	
⑮	集塵機メンテフタ	1	㉗	カバー下受け	2

■ 各部の名称

【CWG-GDLH919-KG】

【CWG-GDLH919-TB】

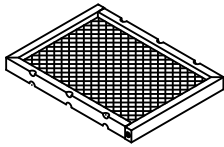
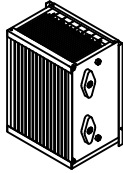

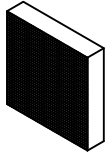

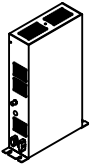



番号	名 称	数	番号	名 称	数
①	プレート (鉄板)	1	⑮	集塵機メンテフタ	2
②	カス受け	1	⑯	側板 (右)	1
③	前フタ	1	⑰	ドレンパン	2
④	鉄板カバー下 (右)	1	⑱	キャスター (ブレーキ付き)	4
⑤	鉄板カバー下 (左)	1	⑲	ガラスフード	1
⑥	スライドフードカバー (右)	1	⑳	器具側コンセント	1
⑦	スライドフードカバー (左)	1	㉑	電気ヒーターユニット	2
⑧	W900 鉄板カバー前	1	㉒	電源コード3m	1
⑨	吸気筒カバー	3	㉓	笠木 (右・左・後)	1
⑩	グリスフィルター	3	㉔	折りたたみ天板 (右)	1
⑪	集塵部 (集塵セル)	2	㉕	折りたたみ天板 (左)	1
⑫	チャンバードレンパン	2	㉖	折りたたみ天板 (後)	1
⑬	セルドレンパン	2	㉗	形式銘板	1
⑭	脱臭フィルター	2	㉘	カバー下受け	3

■ 各部の名称

■ 集塵機 詳細説明

- ・ 吸引した油煙はグリスフィルターでミスト状の油を除去します。
- ・ 残った細かな油煙は電気集塵機で処理して無煙化しています。
- ・ 最後に脱臭フィルターで臭いを吸着し脱臭して排気しています。

名称	図	働きとお手入れ方法
グリスフィルター		<ul style="list-style-type: none"> ・ 油煙のミスト状の油を除去します。 ・ 専用洗剤クリタンの水溶液で洗浄します。 ・ 繰り返し使用出来ます。
集塵部（集塵セル）		<ul style="list-style-type: none"> ・ 油煙の細かなの油と煙を除去します。 ・ 専用洗剤クリタンの水溶液で洗浄します。 ・ 繰り返し使用出来ます。
イオン化線		<p>集塵部の中の電気部品です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 油煙を帯電させます。 ・ 集塵部ごと専用洗剤クリタンの水溶液で洗浄します。 ・ 切れたら新品交換します。
脱臭フィルター		<ul style="list-style-type: none"> ・ 油と煙を除去されて排気を脱臭します。 ・ 洗浄はできませんが繰り返し使用出来ます。 ・ 6ヶ月を目安に新品交換します。
碍子カバー Assy		<ul style="list-style-type: none"> ・ 集塵部に電源供給する部品です。 ・ 洗浄はできませんが、定期的に油を拭き掃除します。 ・ 経年劣化で絶縁不良が発生した場合は新品交換します。
電源ボックス		<ul style="list-style-type: none"> ・ 集塵部に電源供給及び制御する部品です。 ・ 洗浄はできませんが、定期的に空気穴の掃除をします。 ・ 経年劣化で故障が発生した場合は新品交換します。
排気送風機		<ul style="list-style-type: none"> ・ 油煙を排気する為の送風機モーターです。 ・ 経年劣化で絶縁不良や、異音性能低下が発生した場合は新品交換します。

■ 消耗品と補要部品



消耗品：脱臭フィルター、イオン化線、電気ヒータ

補要部品：集塵部（集塵セル）、碍子カバー Assy、電源ボックス、排気送風機
温度調節器、温度調節リレー（SSR）、温度調節ボリューム

■ 仕様

■ 仕様表



記載事項	記載内容			
製品名	脱臭機能付無煙調理ワゴン Wagon de Cook 電気鉄板焼タイプ			
形式の呼び	CWG-GDLH719-KG	CWG-GDLH719-TB	CWG-GDLH919-KG	CWG-GDLH919-TB
外装デザイン	笠木仕様	折りたたみ天板仕様	笠木仕様	折りたたみ天板仕様
鉄板サイズ	W708×D560×t16		W908×D560×t16	
外形寸法(mm)	W920×D850×H1195	W1360×D1070×H1195	W1120×D850×H1195	W1560×D1070×H1195
質量(kg)	約210	約225	約307	約324
熱源	電気ヒータ2.8kW×1台		電気ヒータ2.8kW×2台	
定格電圧	単相200V			
定格周波数	50または60Hz 専用			
定格消費電力	50Hz	2.90kW		5.80kW
	60Hz	2.90kW		5.80kW
電源コードの長さ	3m			
火力調節	AUTO (デジタル自動温度調節器+半導体リレー制御)			100℃~250℃
安全機能	温度センサー断線時ヒータ停止 集塵部異常電流電圧時集塵停止	集塵部フタ異常装着検知 集塵部異常放電検知	集塵セル異常装着検知 漏電安全装置	

	電源コード仕様 (取り外し式)			
形式の呼び	CWG-GDLH719-KG	CWG-GDLH719-TB	CWG-GDLH919-KG	CWG-GDLH919-TB
プラグ	単相200V 250V-20A (接地引掛2P) 		単相200V 250V-30A (接地引掛2P) 	
コード	3m (3.5mm ² ×3心)		3m (3.5mm ² ×3心)	

■ 仕様





■ 仕様表

記載事項	記載内容			
製品名	脱臭機能付無煙調理ワゴン Wagon de Cook 電気鉄板焼タイプ			
形式の呼び	CWG-GDLH719-KG	CWG-GDLH719-TB	CWG-GDLH919-KG	CWG-GDLH919-TB
外装デザイン	笠木仕様	折りたたみ天板仕様	笠木仕様	折りたたみ天板仕様
鉄板サイズ	W708×D560×t16		W908×D560×t16	
外形寸法(mm)	W920×D850×H1195	W1360×D1070×H1195	W1120×D850×H1195	W1560×D1070×H1195
質量(kg)	約210	約225	約307	約324
熱源	電気ヒータ2.8kW×1台		電気ヒータ2.8kW×2台	
定格電圧	単相200V			
定格周波数	50または60Hz 専用			
定格消費電力	50Hz	2.90kW		5.80kW
	60Hz	2.90kW		5.80kW
電源コードの長さ	3m			
火力調節	AUTO (デジタル自動温度調節器+半導体リレー制御) 0℃~250℃			
安全機能	温度センサー断線時ヒーター停止 集塵部フタ異常装着検知 集塵セル異常装着検知 集塵部異常電流電圧時集塵停止 集塵部異常放電検知 漏電安全装置			

	電源コード仕様 (取り外し式)			
形式の呼び	CWG-GDLH719-KG	CWG-GDLH719-TB	CWG-GDLH919-KG	CWG-GDLH919-TB
プラグ	単相200V 250V-20A  (接地引掛2P)		単相200V 250V-30A  (接地引掛2P)	
コード	3m (3.5mm ² ×3心)		3m (3.5mm ² ×3心)	

■ 電気工事

- 機器の設置及び付帯する電気工事は専門業者に依頼してください。

 警告	電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う	
 警告	アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種設置工事を行う	

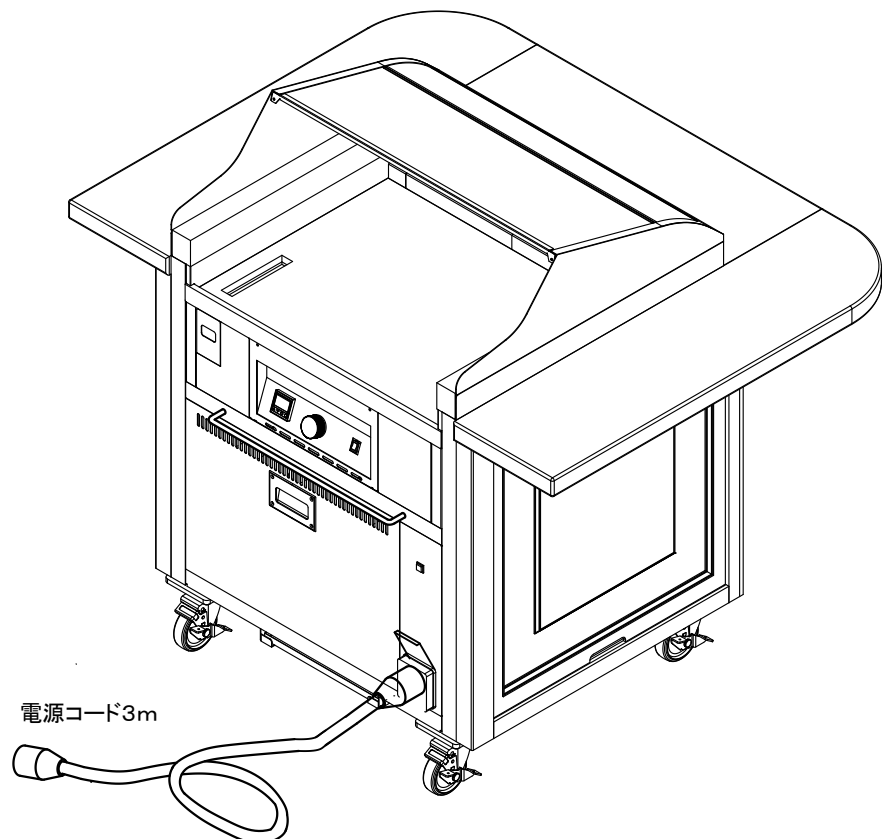
- この製品の電源は交流単相200V（仕様表参照）が必要です。以下の注意事項を守って正しく工事してください。

- ①電気工事は、電気工事士の資格（免許）を持った認定工事店で行ってください。
- ②工事の依頼の際は、添付の「取扱説明書」を電気工事業者にお渡しください。
- ③電源コンセントの位置・容量を確認してください。
- ④機器は、必ずD種接地（アース）を施してください。
コンセントの接地線のアース抵抗値は、100Ω以下にしてください。
- ⑤アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください
- ⑥器具ごとに仕様表に示す電源が必用です。コンセントは機器のプラグに適合した「ツイストタイプ」を使用してください。

※設置当日には電気が使用できる状態にしておいてください。
使用できない時は器具の確認、試運転ができません。

- コンセントの位置

器具には取り外し式の電源コードが3m付属しておりますので届く範囲で、足元の邪魔にならない位置にコンセントを設置してください。



■ 設置について

⚠ 注意



電源周波数の確認

機器は50Hzまたは60Hz専用です。
周波数があるかどうかご確認ください。

■ 設置前の準備

- ・ 機器を木枠から取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認してください。
- ・ 機器の銘板を確認してください。吸引用送風機は、50Hzまたは60Hz専用調整済みです。ご使用の地域の電源周波数と、銘板の周波数が有っているかを、ご確認ください。周波数が有っていない場合は、ご購入先又は山岡金属工業株式会社まで、ご連絡ください。

※誤って周波数が間違っても機器が故障する事はありません。
簡単に調整する事が出来ますのでご連絡をお願い致します。
修理に伺う場合には有償修理となります。

■ 設置場所

- ・ 冷暖房装置の吹き出し口の付近や強い風の吹き込む所では、ご使用にならないで下さい。煙の吸い込みに異常がでます。
- ・ 機器はガタツキのない水平な床に設置してください。

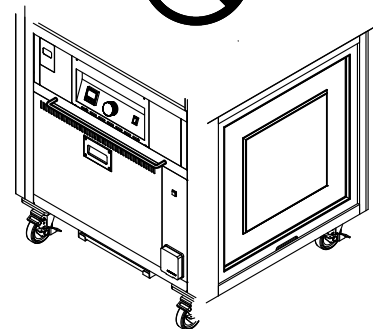


- ・ 棚の下など落下物のある所を避けて下さい。火災になることがあります。
- ・ 樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。



■ 設置後の注意

- ・ 設置場所が決まると、安全の為、必ずキャスターにブレーキをかけて固定してください。
(4輪全てがブレーキ付です)



【ブレーキON】

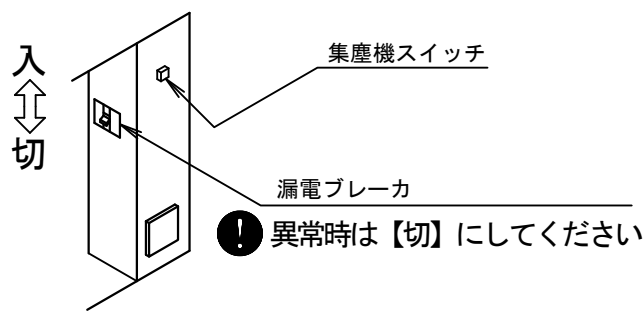
■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・ ワゴンを所定の場所に移動させてください。
- ・ 設置場所が決まったら、足元のキャスター4輪のブレーキを全て【ON】にして、ワゴンを固定してください。
また、機器が動かない事を必ず確認してください。
- ・ 4ページの各部の名称を参考にして、各部品がセットされている事を確認してください。
- ・ 電源コードの機器側を電源取入れ口に差し込んで少し回して固定してください。
軽く引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・ 機器の各スイッチを【OFF】温度設定つまみを左にいっぱい回して【0】にしてください。また、前フタを開けて、機器内部の漏電ブレーカーが【切】であることを確認してください。
- ・ 電源プラグを適正配線されたコンセントに差し込んでください。

■ ご使用方法

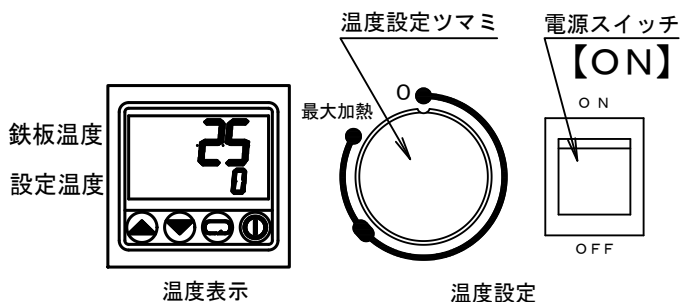
①前フタを開けて、機器内の漏電ブレーカーを【入】にして前フタを閉めてください。



②前フタ右側の集塵機スイッチを【ON】してください。
スイッチが赤く点灯し、吸引用の送風機が作動します。
(CWG-GDLH719は1個, CWG-GDLH919は2個)

③ヒーターの電源スイッチを【ON】してください。
(CWG-GDLH719は1個, CWG-GDLH919は2個)

温度表示が点灯し、上に現在の鉄板温度と下に設定温度表示します。



■ 鉄板加熱の操作方法

①加熱前の確認。

⚠ 注意



温度表示のキーは触らない

キーロックを設定しております。
故障の原因となりますので
触らないでください

■ ご使用方法

■ 加熱方法

⚠ 注意



加熱中に音がします

加熱中に鉄板の下で音がある場合があります。
ヒーター付近の金属や鉄板の熱膨張から発生していますので
故障ではありません。

- ・ 温度設定つまみを【0】から時計方向に回してお好みの温度に設定してください。
設定温度が【0】から設定した温度に変わり、鉄板温度が赤色に変わって現在の
温度を表示します。
- ・ 設定した温度に鉄板温度が到達すると、鉄板温度は赤色から緑色に変わり、到達
したことを色でも確認できるようになっています。
- ・ この状態で調理にご使用いただけます。

■ 温度設定方法

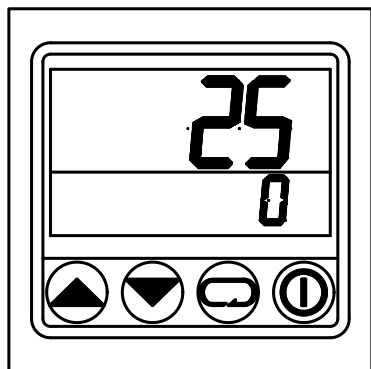
⚠ 警告



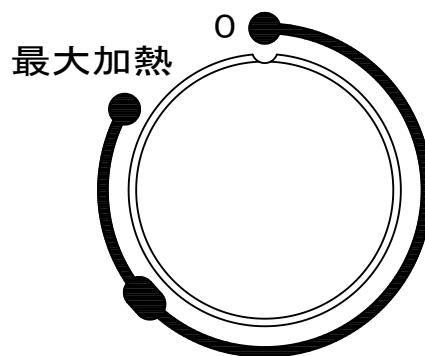
無理やり回さない

温度設定つまみは無理やり回さない。
故障の原因となります。

- ・ 温度設定は操作ユニットのダイヤル式温度設定つまみで行ってください。
温度表示の△▽ボタンで設定はできませんのでご注意ください。
無理やり温度表示の△▽ボタンとその付近を操作すると、器具が故障する場合が
ありますのでご注意ください。
- ・ 温度設定は最大加熱が【250℃】に調節済みです。
その範囲内でお好みの温度に設定してください。
途中の長丸は【200℃】のおおよその目印です。



温度表示



温度設定

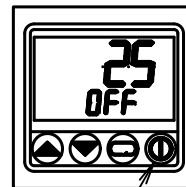
※ 温度設定つまみを無理やり回したりすると、器具故障の原因となります。

■ ご使用方法



温度表示器は操作しない

- ・ OUT/OFFキーは、1秒以上長押しするとロックが解除されて【OFF】が表示されます。また、その状態では加熱されません。もう一度押すと元の状態にすぐに戻り解除されます。キースイッチ等は誤って操作されないようご注意ください。



OUT/OFFキー

- 設定温度までの到達時間
(室温によって値は変化しますので目安としてください)
室温25°Cから

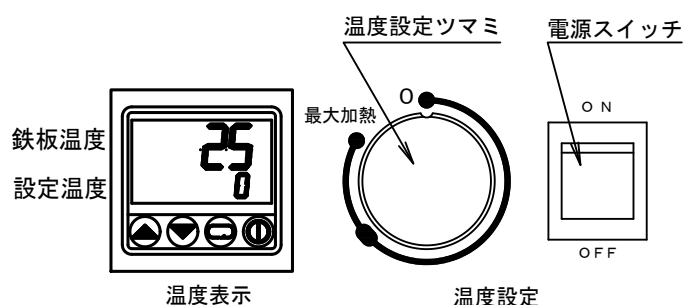
設定温度(°C)	到達時間(分)
200	約19分

- 温度設定のめやす
(実験値ですので、お好みのレシピで確認してください)

調理方法等	鉄板の温度設定(°C)
保温ぬるめ	100
ステーキ調理	180~210

- 運転停止方法

- ・ 温度設定つまみを設定位置から反時計方向に回して【0】にしてください。設定温度が【0】になって鉄板温度をオレンジ色で表示します。この状態で加熱は停止していますので、徐々に鉄板は冷めてきます。
 - ・ 鉄板温度が下がって室温近くになったら電源スイッチを【OFF】にしてください。温度表示が全て消えます。
- ※ 長期間ご使用にならない場合には、漏電ブレーカーを【切】にし、電源コードをコンセントから外して保管してください。



■ 試運転

■ 試運転とプレート（鉄板）の慣らし焼き

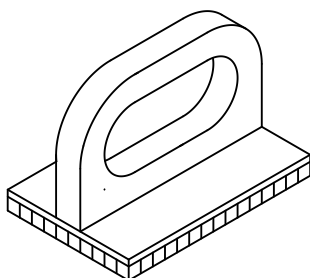
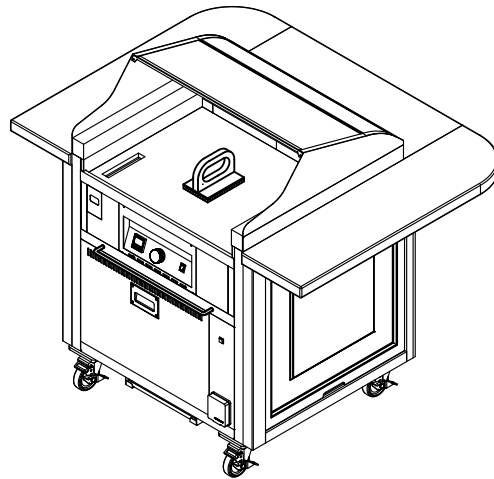
- ・ 機器を設置、固定した後、実際の動作が正常である確認と、鉄板表面の防錆処理（油）を取り除くために下記の要領で試運転を行ってください。

※加熱を始めるとヒーターと鉄板の熱膨張から音が発生する場合があります。
この音は器具の構造上起こる現象で、音の大小や、回数の多い少ないがありますが故障ではありません。

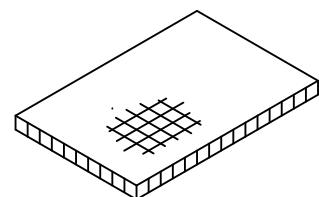
※初めて加熱をした時に、少しニオイや煙が発生する場合があります。
これは鉄板表面に塗布した油分や、内部の防錆剤から発生した物で、使用していくなかで徐々に無くなる現象です。故障ではありません。

- ① ご使用方法の手順にしたがって設定温度 120℃にし、表示等が正常である確認をしてください。
- ② さらに、温度を 200℃に設定し温度が安定したら、植物油を鉄板全面に塗布して、キャベツ等の野菜（適量）を炒めてください。
- ③ この炒める作業を 2～3 回行うことで鉄板表面の防錆処理を取り除いて、油が鉄板表面になじみ、付着するようになります。
- ④ 余分な油を拭き取って作業は完了です。
- ⑤ 磨き鉄板の場合には茶色く変色しますので、市販のクリーニング製品（専用の高温用グリドルホルダーと高温用研磨パッド）を使用して鉄板の表面をきれいに仕上げた後、薄く油を塗布して作業は完了です。

※クリーニング製品は当社でも取扱いしております。



【高温用グリドルホルダー】
No. 482 (No. 82パッド1枚付)



【交換用パッド】
No. 82 (パッド10枚入)

■ 日常点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつ感電等の事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

警告



水 使用禁止

プレート（鉄板）や本体に直接水をかけない。
感電・火災の原因となります。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談ください。
- ・ 点検・お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントより抜いてから、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れされる場合は手袋を着用し行ってください。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。
- ・ プレート（鉄板）に多量の水をかけてお手入れしないでください。
フチから水が多量にあふれ出ると感電や火災の原因になります。

■ 日常点検

- ・ 電源スイッチを【ON】にして、表示に異常がないか、また、動作に異常がないかを確認してください。異常がある場合は20ページ【故障・異常の見分け方と処置方法】の項を参照して対応してください。

警告



漏電ブレーカーを切る 感電の原因となります。作業前に必ず【切】にしてください

■ 日常のお手入れ（鉄板と周囲）

- ・ プレート（磨き）は調理終了ごとにコテで表面のカスや焦げををこそげ落として、カス落とし穴へ捨ててください。表面をきれいに保つためには、市販のクリーニング製品を使用して鉄板の表面をきれいに仕上げてください。
最後に油を塗布して作業は完了です。

※クリーニング製品は当社でも取扱いしております。（P13参照）

- ・ 吸気筒カバー及び吸気筒サイドカバー（CWG-GDLH719専用部品）には油脂分が付着しますので、1日1度取り外して中性洗剤で洗浄し水洗いしてください。
- ・ 鉄板カバー下（右）（左）とスライドフードカバー（右）（左）の表面には油脂分が付着しますので、1日1度取り外して中性洗剤で洗浄し水洗いしてください。
- ・ カス受けの中には油脂分とカスが溜まりますので、1日1度取り外して中性洗剤で洗浄し水洗いしてください。
使用頻度が多い場合には早めに清掃してください。
- ・ フードガラス
フードガラスに焼汁や油脂分が付着し、変色すると不衛生ですのでご使用ごとに清掃してください。

■ 日常点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつ感電等の事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行ってください。

⚠ 注意



お手入れ時の安全確認

電源コードをコンセントから外してください
機器を冷ましてください
ゴム手袋等の保護具を装着してください

- ・ 点検・お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントより抜いて、機器が冷えてから行ってください。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意してください。
- ・ 機器内部をお手入れされる場合はゴム手袋を着用し行ってください。各 부품の突起等に力強く当たった場合、手を切ることがありますので注意してください。

⚠ 注意

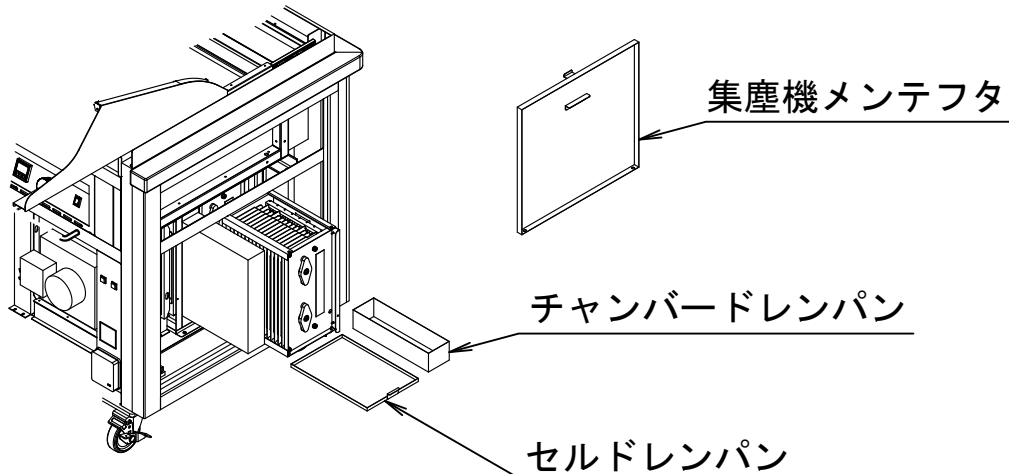


チャンバードレンパン、セルドレンパンの掃除と集塵機メンテフタの掃除

使用時ごとに確認し、油が溜まっていたり、付着していたら、きれいに掃除してください。

■ チャンバードレンパン、セルドレンパンの掃除について

- ・ 使用時ごとに点検・お手入れは、必ず行ってください。集塵機メンテフタを外した時に付着した油が流れ出てくる恐れがありますので、早めに掃除してください。



⚠ 注意



ワゴン外観の油汚れの掃除

ワゴンの筐体継目などから出てくる油は都度拭き掃除してください。

■ ワゴン外観の油の掃除について

- ・ ワゴンの表面に筐体継目などから出てくる油は鉄板焼き機では通常起きる現象です。不具合ではありませんので、都度きれいに拭き掃除してください。掃除しても早期に繰り返し起こる場合はオーバーホールが必要になりますので、お問い合わせになった販売店が当社まで依頼してください。

■ 日常の点検・お手入れ

■ 日常のお手入れ（集塵部・集塵機内部・ドレンパン）

- ・ 集塵部（集塵セル）
集塵部は1週間に1度【集塵機部品の洗浄方法】の項を参照して洗浄してください。
- ・ 集塵機内部
集塵機内部は1ヶ月に1度中性洗剤をしみこませた布切れで内壁や底面をきれいに拭き取ってください。

特に集塵部を入れる所の奥にある【バネ】とその周囲に油が多く付着すると、安全装置が働いて動作しなくなります。バネを変形させないように注意して中性洗剤をしみこませたウエスで油を拭き取ってください。

- ・ ドレンパン
ドレンパンは1週間に1度、中性洗剤を付けたスポンジで洗浄してください。洗浄後はよく乾燥させてください。

注：上記のサイクルは目安ですので、パチパチ音が続いたり、しばらく使用しない場合はすぐに洗浄してください。

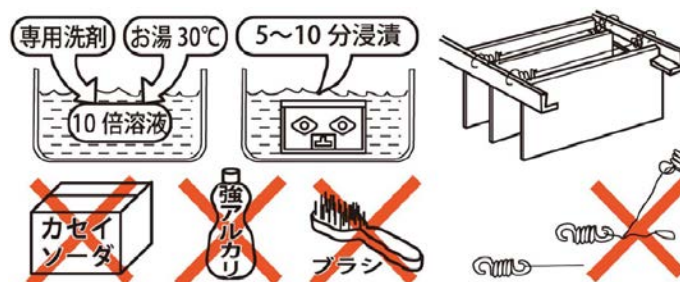
【集塵機部品の洗浄方法】

集塵部（集塵セル）

- ①側板を一度持ち上げてから手前に引いて開け、取出してください。
（CWG-GDLH719は右側1ヶ所、CWG-GDLH919は左右2ヶ所）
折りたたみ天板仕様の器具は左右の横天板を上を持ち上げて取り外してから、側板を外してください。
- ②集塵器の点検フタを手前に引っ張ってから、上に少し持ち上げて、外に取出してください。
- ③集塵部（集塵セル）を取出します。
集塵部の取っ手をつかんで、真直ぐに手前に引き出してきて、両手で器具の外に取出してください。
- ④洗浄バケツに専用洗剤クリタン（別売）を10倍に希釈した洗浄液を作ります。
例：クリタン2リットル＋30℃のお湯20リットル

注1：洗浄バケツはステンレス製を準備してください。アルミ製は使用出来ません。
注2：洗浄時は必ずゴム手袋、保護メガネを着用してください。
注3：か性ソーダなどの強アルカリ洗剤は使用できません。
注4：集塵コレクターの洗浄にブラシ等は使用しないでください。
注5：イオン化線には注意してください。万一切断された場合には新しいものに交換してください。

- ⑤集塵部を5～10分間、準備した洗浄液に漬けます。



■ 日常の点検・お手入れ

⑥洗淨液を十分に水切りしてから、清水で全体を洗い流してください。

⑦集塵部を日陰干しで十分に乾燥させてください。

(日陰干しの目安は1日以上です。)

乾燥が不十分な場合は、ドライヤーで温めて乾燥させてください。

特に電極(樹脂部分×4個)は十分に乾燥させてください。

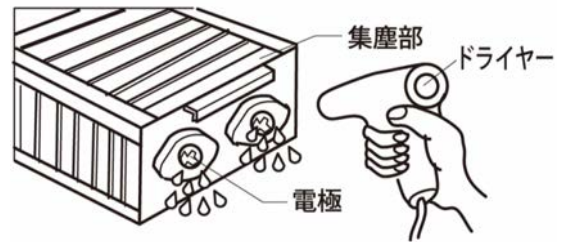
※乾燥時にゴミやホコリが内部に入らないように注意してください。

⚠ 注意



十分な乾燥

集塵部が湿っていると
機器は動きません。



【集塵機部品の洗淨方法】

グリスフィルター・カバー下受け

①ガラスフードを操作側(手前)にゆっくり押して開けてください。

②吸気筒カバーを外してください。

③グリスフィルターをつまんで引き上げて取り出してください。

④集塵部と同じ洗淨液を準備してください。

⑤グリスフィルターを60分間、準備した洗淨液に漬けます。

⑥洗淨液を十分に水切りしてから、清水で全体を洗い流してください。

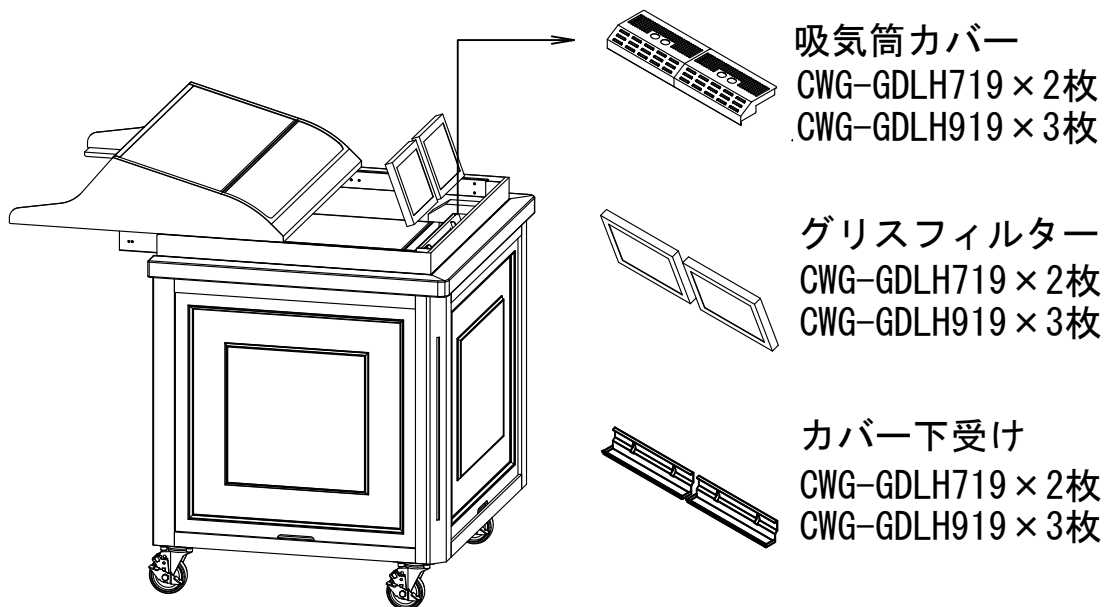
※グリスフィルターは目が細かいので十分に洗淨した後、光にかざして
目が詰まっていない事を確認してください。

⑦グリスフィルターは日陰干しで十分に乾燥させてください。

(日陰干しの目安は1日以上です。)

⑧カバー下受けの上部をつまんで取り出してください。

⑨カバー下受けは中性洗剤を塗布したスポンジで洗淨し、水洗い後に十分
に乾燥させてください。



調理回数が多く、洗淨が間に合わない場合には、集塵部とグリスフィルターの洗替用の予備品をご準備頂く事を推奨いたします。

■ 定期的なお手入れ

日常のお手入れ以外に、下記の定期的なお手入れを必ず行ってください。
作業前に漏電ブレーカーを【切】にして、電源コードを抜いて、作業を行ってください。作業は手袋をして行ってください。

⚠ 警告

❗ 漏電ブレーカーを切る 感電の原因となります。作業前に必ず【切】にしてください

⚠ 警告

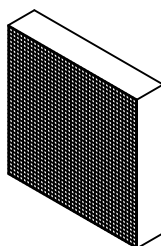
❗ 手袋をする けがの原因となります。必ず手袋をして作業してください。

■ 定期的なお手入れ

- ・ 集塵機の内部について、油汚れを拭き掃除してください。
1ヶ月に1度は内部の部品を全て取り出して、ふき掃除をしてください。
拭き掃除は中性洗剤の水溶液を布切れにつけて行ってください。
- ・ グリスフィルター装着部の周辺について、油汚れを拭き掃除してください。
1ヶ月に1度は内部の部品を全て取出して、ふき掃除をしてください。
拭き掃除は中性洗剤の水溶液を布切れにつけて行ってください。
- ・ 底皿を取り外して洗浄してください。

■ 定期的な点検

- ・ 脱臭フィルターを点検してください。
1ヶ月に1度は取り出して目が詰まっていないか、光にかざして確認してください。
目が詰まっていたら新品交換が必要です。
また、目が詰まっていなくても脱臭性能劣化の為、おおよそ6ヶ月で新品交換が必要になります。



⚠ 注意

❗ 脱臭フィルターの交換 脱臭フィルターの寿命は6ヶ月が目安です。

- ・ 集塵部（集塵セル）を点検してください。
1ヶ月に1度は取り出してイオン化線が切れていないか確認してください。
また、ネジの緩みや、変形等が無いことを確認してください。

■ リセットスイッチ・異常ランプについて

この機器の電気集塵機には安全のため、お手入れをされなかったり、集塵部（集塵セル）に異常があった場合に動作する安全機能が備えられています。ご使用中に集塵機や送風機が停止した場合などは、次の項目に従い処置してください。

集塵部が汚れると異常ランプが点灯し、集塵機が止まります。集塵部の洗浄・乾燥後に部品を装着し、集塵部スイッチを押した状態で、リセットスイッチを押してください。集塵部が汚れたこと以外にも、下表のような原因が考えられます。下表を参照し、処置を行った後、集塵部スイッチを押した状態で、リセットスイッチを押してください。

現象	点検箇所	原因	処置方法
異常ランプが点灯する (異常ランプが点灯する前に、パチパチ音がする)	集塵部	異物が集塵部に付着している	異物の除去
		集塵機の碍子、または、集塵部の電極間に水分が付着している	集塵部の乾燥
イオン化線が切れている		イオン化線の交換	
イオン化線が汚れている		イオン化線の清掃	
異常ランプが点灯する (パチパチ音はしない)		集塵部を入れ忘れている	集塵部の装着

■ インターロックスイッチについて

この機器の電気集塵機には安全のため、誤って電源が入った状態で機器をお手入れされた場合に電源が入らないようにするインターロックスイッチを2ヶ所に採用しています。集塵機スイッチが入らない（点灯しない）場合は下記を確認、点検してください。

①集塵部（集塵セル）の後ろ側にピンが出ています。

集塵部が集塵機に装着された場合に、集塵部背面のピンが奥の穴から出て、外に組込まれたスイッチを押えるようになっています。

点検箇所

- ※ピンがグラグラしている。
- ※ピンが無くなっている。
- ※集塵部が変形してピンが穴から出ない。

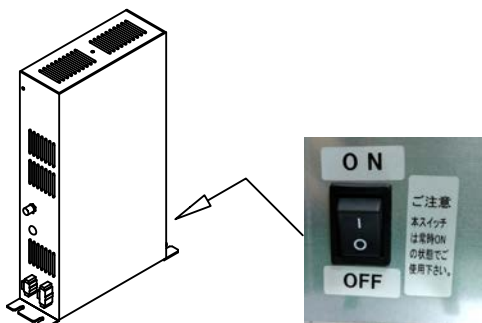
②集塵機の前フタ上部に金具の凸部が出ています。

集塵機の前フタが装着された場合に、金具の凸部が奥のスイッチを押えるようになっています。

点検箇所

- ※前フタが上手く閉まっていない。
- ※金具の凸部が変形している。
- ※金具の凸部が無くなっている。

■ 電源ボックス（基板）の背面スイッチについて



電源ボックス

機器内部、電源ボックス背面にあるスイッチは常に【ON】にしてください。

【OFF】にしていると、集塵機が動作せず集塵機スイッチが点灯しません。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

現象 原因	処置方法												
	通電しない	煙の吸込みが悪い	コードが異常に熱い	パチパチと連続で音がする	集塵機スイッチが点灯しない	異常ランプが点灯する	鉄板温度が設定値まで上がらない	鉄板温度が設定値を超えない	鉄板温度が半分しか温まらない	リセットしても復旧しない	漏電ブレーカーが作動する	温度調節ができない	油が機器よりたれてくる
電源プラグが抜けている	○				○								電源プラグを差し込む
電源プラグが抜けかけている	○		○							○			電源プラグの差し込みを確認する
元ブレーカーが入っていない	○				○								元ブレーカーを入れる
漏電している										○			販売店に連絡する
機器のブレーカーを【ON】にしていない	○				○								機器のブレーカーを【ON】にする
グリスフィルターの汚れ		○										○	グリスフィルターを洗浄する 【P17グリスフィルターの洗浄方法】を参照
イオン化線に油などが付着している					○	○				○			集塵部（集塵セル）の洗浄 【P16集塵部の洗浄方法】を参照
集塵部（集塵セル）の汚れ					○	○				○		○	集塵部（集塵セル）の洗浄
イオン化線が断線接触している					○	○				○			イオン化線の交換
集塵部（集塵セル）に異物が入っている					○	○				○			集塵部（集塵セル）の洗浄
集塵部（集塵セル）が変形している					○	○				○			集塵部（集塵セル）の交換
吸気筒とその周辺の汚れ												○	吸気筒とその周辺の洗浄、清掃
ドレンパンを洗浄していない												○	ドレンパンの洗浄
適正配線工事が行なわれていない	○		○						○	○			電気工事店に連絡する
集塵部フタが開いている					○								集塵機メンテフタを確実に閉める
集塵機故障		○			○								販売店に連絡する
温度調節器不良							○	○	○		○		販売店に連絡する
温度センサーの外れ、断線							○	○	○				販売店に連絡する
インターロックスイッチが入っていない					○								販売店に連絡する
内部配線の結線の外れ	○	○			○				○	○	○		販売店に連絡する
ランプ類が切れている					○				○				販売店に連絡する
電源ボックスの背面スイッチが【OFF】					○								電源ボックスの背面スイッチを【ON】 P19参照

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、漏電ブレーカーを【切】にして、電源プラグをコンセントより抜いて保管してください。
プレートは清掃した後、全面に植物油を十分に引いて保管してください。

■ アフターサービスについて

- サービス（点検・修理など）を依頼される前に
 - ・ サービスを依頼する前に20ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡ください。
 - ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 - ① 製品番号（銘板に表示のもの）
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・販売店・訪問希望日、時間帯
- 移設される場合
 - ・ 移設によって発生する工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ず買い上げの販売店またはもよりの電気事業者にご連絡ください。
また、このときに要する費用は有料です。
- 保証について
 - ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器（付帯工事などは除く）の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障
 - ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。
- 消耗品
 - ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（6ページ参照）
- 補修用性能部品の最低保有期間について
 - ・ このステーキワゴンの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。
- 連絡先
 - ・ このステーキワゴンをお使いになった上で、なにか不明な点や不具合な点がございましたら、買い求めになった販売店か当社へ連絡してください。
- お客様の個人情報の取り扱いについて
 - ・ 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001/ISO9001認証取得

本 社 / 〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店 / 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。